

☆くすのき チャレンジⅡ☆

こえだ よ たの し 声に出して読むと楽しい詩。「たんぽぽ」と「春のうた」の二つを紹介します。

たんぽぽ

かわさきひろし

たんぽぽが

たくさん飛んでいく

ひとつひとつ

みんな名前があるんだ

おーい たぽんぽ

おーい ぽんた

おーい ぽんたぽ

おーい ぽたぽん

川におちるな



川崎洋「しかられた神様」(理論社)より

やわら小学校の校庭にも、たくさんたんぽぽがさいています。わたげにへんしんして、飛んでいくのは…もう少し先かな。わたげを見つけたら、つつい「ふう〜」って、吹き飛ばしたくなりますね。

春のうた

くさの しんぺい

かえるは、冬のあいだは土のなかにいて、春になると地上にでてきます。そのはじめての日のうた。

ほっ まぶしいな。

ほっ うれしいな。

みずはつるつる。

かぜはそよそよ。

ケルルン クック。

ああいいにおいだ。

ケルルン クック。

ほっ いぬのふぐりがさいている。

ほっ おおきなくもがうごいてくる。

ケルルン クック。

ケルルン クック。



ふたつとも 声に出して読むと、楽しい詩です。ことばのリズムを楽しみながらぜひ、声に出して読んでみましょう。

「草野心平全集」(筑摩書房)より